



# ～もう一人の自分たち～

校長 熊本 寿美

自ら学び、自己を鍛え、“宇美”を愛する生徒の育成

(文責：教頭 土器 修)

令和3年度がいよいよはじまりました。春休み中に大きな事故もなく、こうして生徒たちとともに、令和3年度のスタートを迎えることができたことを心から感謝しております。本年度は、平成29年告示の学習指導要領に示された教育課程が完全実施される初年度となります。これから児童生徒に求められる力は、地域愛を育み、新たな課題にも他者と協働して解決する主体性を発揮し、人生を切り拓いていく力とらえています。そこで本年度の教育目標を「ふるさと宇美を愛し、志をもって、たくましく未来を生きる生徒の育成」に改めました。

### ○「ふるさと宇美を愛し」とは

生まれ育った、あるいは生活の基盤となっている宇美町の人・自然・文化などに愛着と誇りをもち、他を思い合い貢献と協調の豊かな心の人間力を磨き合うこと

### ○「志をもって」とは

将来への志をもち、課題の発見・解決に向けた自律的に学びに向かう力を自分自身で生み出し、自己を鍛え、主体的・対話的な学びを創造していくこと

### ○「たくましく未来を生きる」とは

自己を「もう一人の自分」から客観的に捉え、夢や希望の自己実現に向け、仲間と切磋琢磨し自らを成長させ、たくましい未来を生きる力を育むこと

学校の教育目標の達成に向け、様々な教育活動に取り組んでまいります。保護者、地域の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いたします。

## 令和3年度1学期の目標 ～目標の達成、夢実現に向けて～

令和3年度のはじまりにあたり、始業式で生徒代表が述べた1学期の目標を紹介いたします。

### 1学期の目標

1年時3学期には「2年生の零学期」を意識して自分たちで考えて行動することを徹底しました。その一環で「学年・学級対抗リレー」を行いました。先生の力を借りずに走順などを自分たちで決めました。この経験を2年生でも生かしていきたいです。入学してくる後輩にお手本となるように先輩としてふさわしい姿を見せたいと思います。  
2学年代表 木庭 広翔さん

3年生では、勉強を一番に頑張りたいと思います。予習・復習をしっかり行い、授業に集中して取り組みたいです。また、受験を前に不安なこともあります。1人で悩まず、仲間と協力して解決していきたいです。苦しいことや辛いことがあっても何でも相談でき、協力して何事にも取り組める学年の雰囲気をつくっていきたいです。  
3学年代表 杉本 梨領奈さん

1学期は、「南中いじめ撲滅宣言」を作成し、いじめのない南中を目指していきます。ご協力お願いいたします。早速、今月の学級委員会では、「ふわふわ言葉四箇条」を南中に浸透させ、全校生徒が笑顔で学校生活を送れるような言語環境をつくる取組を行います。みんなで一緒に、優しさあふれる素敵な南中を創っていきましょう。  
生徒会代表 平田 理乃さん

2年生は南中をいざれ担う上級生としての目標、3年生は進路実現に向かう目標が述べられました。生徒会代表からは、生徒総会で承認された取組を通して理想とする南中を実現しようとする意気込みが述べられました。それぞれ、目標達成に向けた強い覚悟を感じさせる内容です。本校では、引き続き生徒の目標の達成や夢実現に向けて、「鍛えて・ほめて・励まして」南中生のよさや頑張りが輝く学校づくりに努めてまいります。

また、校長先生からは、第一步(後藤静香)の詩が紹介され、「挑戦」をキーワードに、夢の実現に向けた確かな一歩を踏み出そうという成長への願いが伝えられました。

### 校長先生の話より (一部抜粋)

まずはなりたい自分を描くことからです。その目標が「挑戦」の一日一日をつくっていきます。小さな目標でかまいません。行動を起こし、着実な一歩を踏み出すことです。これまでの自分より、これからの自分です。これから1年間、どこまで登っていくのか、みなさんの可能性への挑戦を楽しみに見つめていきます。

第一步  
後藤 静香(ごとう せいこう)  
※大正時代の詩人・歌人  
十里の旅の第一歩  
百里の旅の第一歩  
同じ一歩でも覚悟がちがう  
三笠山に登る第一歩  
富士山に登る第一歩  
同じ一歩でも覚悟がちがう  
どこまで行くつもりか  
どこまで登るつもりか  
その日その日を支配する

令和3年度 1学期 始業式

## 離・赴任の先生の紹介 ～「チーム南中2021」チーム力の向上を目指して～

### 令和3年度の人事異動

退職・転出の先生方	転入の先生方
杉本 陽子【国語】(宇美中学校)	烏田 康平【社会】(宇美中学校)
宮原 美晴【技術】(ご退職)	持田 恵子【国語】(学院院中学校)
手塚 善子【家庭】(ご退職)	影木 恭子【国語】(志免東中学校)
篠原 衣李子【美術】(ご退職)	高松 聖子【音楽】(粕屋中学校)
深田 奈美【特別支援教育支援員】(ご退職)	津島 奈々【スクールカウンセラー】(志免東中学校)
弓削 昭雄【生徒指導支援員】(ご退職)	松本 綾子【特別支援教育町支援員】 ※通級による指導担当に加え、特別支援教育町支援員としても勤務されます。
内野 有梨【スクールソーシャルワーカー】(福岡市、八女市)	肥後 弘美【学習支援員】 ※昨年度途中から学習支援員として勤務されています。
上野 麻紀【スクールカウンセラー】(春日市)	※ 技術、家庭、美術の先生については、任用が決まり次第、お知らせいたします。

本校では、教員、事務職員、SC、SSW、支援員等、全教職員のチーム力を高め、協働性を発揮して教育活動を行っています。3月31日(水)の異動発令により、これまで、「チーム南中」の一員として尽力いただいた先生方が転出されることとなりました。新たに本校へ赴任された先生たちとともに、目標を共有し、チーム力の向上に一層努めてまいります。令和3年度も本校教職員「チーム南中 with “南中” PRIDE」として協働性を高め、南中生の学習や生活を支援してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



## 新教育課程完全実施の初年度スタート～「南中学びのスタイル」の習得に向けて～

平成29年告示の学習指導要領に示された教育課程の完全実施に向け、昨年度、生徒1人につき1台のPCが整備されています。学習の進め方や課題に応じて生徒1人1人を支援し、個別最適化された学びを保障するための国の事業「GIGAスクール構想」を受け、学習環境を整えました。昨年度は、これらICT活用に係る職員研修に継続して取り組んできました。本年度から「主体的・対話的で深い学び」を実現するICT活用の授業改善にも取り組んでまいります。



授業でのICT活用の様子

また、完全実施に伴い、学習評価が変わります。大きな変更点の1つとして、評価の観点が「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学びに向かう態度」の3つになります。このことにより、「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりを通して、3つの学力をバランスよく育むことが学校に求められています。そこで、本年度は、「思考を深め、自律的に解決する学び力の育成」を課題ととらえ、これまで取り組んできた対話活動(5つのトーク)やふり返し、週末課題等を「南中学びスタイル」として生徒への浸透を図ります。加えて、学習指導におけるマネジメント力の向上に努め、生徒授業評価をはじめ、各種アンケート等を分析、活用して、授業改善や取組の改善に取り組めます。



## 保護者の皆様へ ～PTA常設委員選出へのご協力をお願い～

本年度のPTA活動では、次年度に活動を改善しながら引き継いでいくために、これまでどおり常設委員を選出いたします。各委員会の活動を見直し、毎月の運営委員会の開催数を減らすなど常設委員や長副委員の皆さまの負担軽減を行ってまいります。3月23日にご案内したとおり、4月7日(水)19:30に2、3年生の常設委員選出を行いますので、ご参加いただきますようお願いいたします。